

<服薬ゼリーで介護現場での服薬の問題点、解決を！>

◆要約

介護現場で行われている、「**薬剤の粉碎**」「**とろみ剤での服薬**」には**問題点**があり、これを解決するために**服薬ゼリー**の普及が**重要**です。
購入コストの壁を無くすために、**国に補助金や保険適応を要望したい**と思います。

【介護現場での服薬の現状】

錠剤が飲みにくい高齢者に対して

- ①介護の現場で錠剤を粉碎（潰す）して食事に混ぜる
- ②服薬にとろみ剤を利用

【問題点】

①薬の粉碎：

食事が楽しくなくなる→フレイルの原因

徐放性製剤では薬が効きすぎて健康被害が生じる

②とろみ剤での服薬：

薬の効き目に影響を与えるという報告（文献、学会発表）

服薬量が多く必要となり医療費が増大する



【解決策】

「錠剤をそのまま服薬できる服薬支援ゼリーでの服薬を世の中に定着させる」

【服薬支援ゼリーのメリット】

- ・介助者の負担軽減 : 濃度調整などの手間がかからない
- ・薬効を十分発揮 : 薬剤の溶出、崩壊に影響しにくい
- ・飲み込みしやすい物性 : 錠剤を被い食塊形成し、ばらけない、誤嚥の原因である離水がほとんどない
- ・服用者のアドヒアランスの向上



■しかし、購入コストが壁となり普及していない！■

【国へ要望】

- ① 服薬支援ゼリーを導入した高齢者施設などへの補助金の創設
- ② 服薬支援ゼリーの保険適用

この取組みに賛同いただける方、大募集しています！

嚥下障害患者へ積極関与を 高齢者の薬粉碎を問題視

医療薬学会年会

口腔内残薬も大きな課題

医療薬学会の年次総会が、10月3日(金)から5日(日)まで、日本医療薬学会会館(東京都港区)で開催された。この中で、高齢者の薬粉碎が問題視され、嚥下障害患者への積極関与が求められた。

日本医療薬学会の会長、山本修司氏(盛本修司)は、年次総会の開会式で、高齢者の薬粉碎が問題視され、嚥下障害患者への積極関与が求められたと述べた。

山本氏は、高齢者の薬粉碎が問題視され、嚥下障害患者への積極関与が求められたと述べた。高齢者の薬粉碎は、嚥下障害患者への積極関与が求められたと述べた。

薬剤師と看護師連携

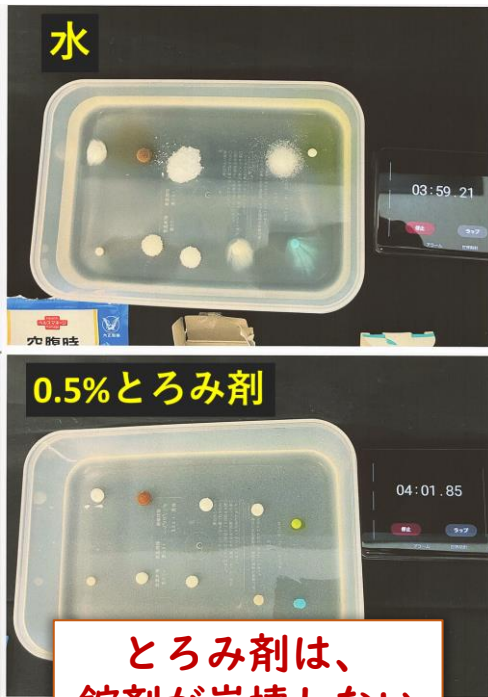
高齢者の薬粉碎が問題視され、嚥下障害患者への積極関与が求められた。薬剤師と看護師の連携が求められる。

高齢者の薬粉碎が問題視され、嚥下障害患者への積極関与が求められた。薬剤師と看護師の連携が求められる。

日本医療薬学会で介護現場での 粉碎、とろみ剤での服薬を 2年続けて問題視

0.5%とろみ剤

とろみ剤は、 錠剤が崩壊しない



2017年(平成29年)2月20日 月曜日

錠剤 砕かず服用を

松山大会
県薬剤師会の学術大会が

19日、松山市三番町7丁目
の県薬剤師会館であった。

県薬剤師会の学術大会が、
19日、松山市三番町7丁目
の県薬剤師会館であった。

県薬剤師会の学術大会が、
19日、松山市三番町7丁目
の県薬剤師会館であった。

県薬剤師会の学術大会が、
19日、松山市三番町7丁目
の県薬剤師会館であった。

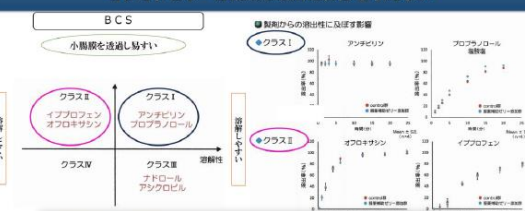


講演するモリモト医薬の盛
本修司代表取締役—19日午
前、松山市三番町7丁目

6年前に薬剤師会の年会で 錠剤粉碎を避ける事を提唱

田中 徳子 氏(松山大会)

モリモトゼリーは薬剤の崩出に影響を与えない



服薬ゼリーは 薬の効能を妨げない



服用支援ゼリーによる 薬剤粉碎の減少効果検証

盛本修司、山岡潤、兼次眞貴子、川崎浩延 (株)モリモト医薬

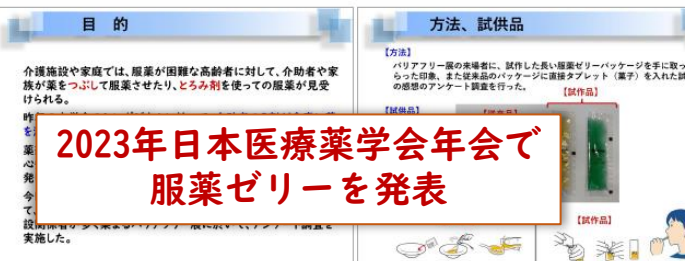
◆第11回
日本在宅薬学会学術集会
P-38
2018.07.16



安心・安全・簡便な服薬を目的とした 服薬ゼリーキットの開発【eジュレneo】

盛本修司、川崎浩延、林茂雄、澤田拓磨、ジェイコム アカム 株式会社モリモト医薬

◆第33回
日本医療薬学会
P0817-4-PM1
2023.11.4



2023年日本医療薬学会年会で 服薬ゼリーを発表